

増刊号No.677

広報わらび

平成20年第1回蕨市議会定例会

施政方針表明全文

3つの改革と5つの柱で進める7万市民の幸せ計画



4 月号

発行：蕨市役所
蕨市中央5丁目14番15号
☎048-432-3200

URL : <http://www.city.warabi.saitama.jp/>
メール : hisho@city.warabi.saitama.jp

7万市民の幸せに向けて

新たななまちづくりが始まる

◀平成20年第1回蕨市議会定例会は昨年から18人となった議員で審議されます



平成20年第1回蕨市議会定例会が2月25日から3月21日までの26日間開かれました。今議会は、市が1年間の行政を進めるための予算を審議する議会でもあります。この増刊号では、議会初日に頼高英雄市長が述べた今年度の施政方針全文を紹介します。

市政運営に全力を尽くす4つの基本的立場

本日、ここに、平成20年第1回蕨市議会定例会を招集申し上げましたところ、議員各位には、公私ともたいへんお忙しいなか、ご参集を賜り厚くお礼を申し上げます。新年度前の定例会でありますので、この際、私が市政運営に臨む基本的な考え方や新年度予算に対する編成方針、更には、予算の概要と主な事業について申し上げます。議員各位並びに市民の皆さんのご理解とご協力をお願いする次第であります。

さて、昨年6月、市民の皆さんの大きなご支援によりまして、蕨市の第6代市長に就任してから、8か月が経過しました。私は、昨年6月市議会における就任あいさつにおいて、市政運営に臨む4つの基本的な立場を表明しました。その第1は、蕨は1つの立場で、すべての市民のための改革、市政運営を貫くことであり、第2は、市職員を心から信頼して市政運営に当たるとともに、常に現場を重視すること、第3は、改革を進めるに当たっては、これまでのやり方を180度変えるような



◀議会初日に施政方針表明する頼高市長

性急な改革を行うのではなく、一步一步着実な改革を進めること、そして、第4は、行政と議会は車の両輪であり、議会の皆様と大いに議論しつつ、「7万市民の幸せ」という共

通の目標に向かって力を合わせていくことです。

私は、市長就任以来、この立場を貫いて、市政運営にまい進してまいりました。特に、日本一小さな市の市長として、



市長がただ市役所にいるのではなく、最大限、市民の皆さんの下へみずから出かけ、私自身の言葉でお話することにかけてきました。それは、少しでも市民の皆さんの生の声をお伺いしたいという気持ちとともに、今の厳しい社会状況のなかで、まずは、市長自身が元気に行動することで、少しでも市民の皆さんを激励したい、元気になってもらいたい、そんな思いからでした。しかし、実際には、私自身が市民の皆さんから激励されることが多かったというのが実感でした。それは、この狭い蕨で、多くの皆さんがボランティア精神を發揮し、まちづくりの一翼を担ってがんばっていただいている姿に接したからです。私は、こうした経験をを通じて、市民の皆さんを心から信頼し、市長を先頭に市職員が一丸となり、行政と市民が一体となって市政運営を進めるならば、この蕨市は本当にすばらしいまちになる、ということを確認いたしました。私は、新しい年度の市政を運営するに当たり、あらためて、この姿勢を堅持してまいります。

また、この間、議員各位をはじめ市民の皆さんのご協力によりまして、市政検証委員会の設置、連続値上げ計画の凍結、防犯ボランティア団体への支援強化、市長給与の30%削減と退職金の50%削減を実行し、更に、懸案となっていました市長公用車についても、先日、最低売却価格180万円に対して271万円で売却することができ、私のマニフェストで、すぐ実行する」とお約束した5つの項目につきましては、おおむね実行することができました。



ところで、市長をはじめ市職員がみずから汗を流し、小さなまちのよさを最大限生かしたまちづくりを進めていく必要があると考えています。そして、このまちづくりを進めるに当たっては、マニフェストに掲げた「3つの改革」、そして、「5つの柱」に沿って、日本一のあったか市政を目指し、全力を尽くす決意であります。

3つの改革で日本一のあったか市政推進

まず、3つの改革ですが、第1の「長期政権のしがらみからの脱却」につきましては、現在、市政検証委員会において、まとめの作業に入っています。現時点では、検証作業

それは、ひと言で言えば、地方交付税の大幅削減や、極めてぶじゅうぶんな税財源の移譲など、地方の切り捨てともいえる内容であったからです。蕨市に照らして考えても、平成20年度予算では、地方交付税は5億円、それに臨時財政対策債を加えても、11億円です。三位一体改

革が始まる前の平成15年度決算では、32億7000万円でしたから、当時と比較しますと21億7000万円の大大幅な減額となります。また、こうした状況に加えて、戸田ポルト収入の大幅な減少、後期高齢者医療制度導入の影響など、蕨市にとって、極めて厳しい状況が続くなかではあります。私は、だか

を通じて、これまで計画的に行われてこなかった公共施設の改修問題、19年度末で75億円の長期債務を抱える土地開発公社の経営健全化、多大な財政負担を伴う中央第一土地区画整理事業や蕨駅西口地区市街地再開発事業の見直しなど、蕨市として、今後解決しなければならぬ深刻な課題を抱えていること、これらの課題が、これまでの市政でじゅうぶん検討されず、先送りされたり、財政的な見通しもなく事業が進められてきた点に、最大の問題点があり、その背景には、市民や市職員の考えが施策の意思決定過程に生かされない点など、長期政権の弊害があったと考えています。いずれにしても、検証結果が



皆さんと考えていく蕨駅西口地区市街地再開発事業

まとめ次第、市民の皆さんに公表するとともに、市政運営に生かしていく考えです。

第2の「無駄遣いの一掃」「大型開発の見直し」につきましては、まず、蕨駅西口地区市街地再開発事業については去る2月4日に第2工区、第3工区見直しのための市民検討委員会を発足させました。私は、蕨の厳しい財政状況を踏まえつつ、これまでの計画手法にとられず、蕨の顔、玄関口にふさわしい駅前整備の在り方、特に、駅前広場の在り方や駅前の市有地の活用方法などについて、市民の皆さんに広く議論していただきたいと考えています。

また、中央第一土地区画整理事業の見直しにつきましても、見直しのための委託料を計上しましたが、権利者の皆

し、お聞きした多くの市民の皆さんの声や「市民意識調査」の結果などを取り入れ、また、市民の代表であります市議会議員の皆様のご意見やご要望を反映するとともに、私が選

5つの柱で公約実現の第一歩20年度予算

それではここで、平成20年度予算の概要について申し上げます。

今、日本の社会経済状況は、サブプライムローン問題などの影響もあり、先行き不透明といわれていますが、中小企業が景気回復を実感できていないことや、個人消費の伸び悩みに加えて、年金生活者をはじめとする税負担の増大、ガソリンをはじめ食料品などの値上がり、更に、格差と貧困の広がりが新たな社会問題となるなど、市民生活は厳しさを増しています。こうしたなかで、住民生活に直結し、住民の暮らしを支える基礎自治体である地方自治体の役割は、いよいよ重要となっております。私は、常に「住民の福祉の向上を図る」という地方自治の原点に立つた市政運営に努めてまいります。

こうした考え方を基に編成しました新年度予算は、就任してから8か月間にお会い

挙の際に掲げました「マニフェストの着実な実現を図るもの」であり、「日本一のおつたか市政推進へ向けて、大きな一歩を踏み出した予算」としました。

5つの柱で公約実現の第一歩20年度予算

あります市税収入を114億円と見込み、前年度と同額程度で推移するものとしたのを

はじめ、地方交付税は、新設の地方再生対策費などを勘案して5000万円の増加を見込んだところでありますが、戸田ポート収入が1億2500万円の減額となるなど一段と厳しい状況であります。そのため、一般会計の予算規模は、前年度当初予算に比べて1億5000万円、率にして0.8%減の約185億円となりました。また、20年度新たに設置いたしました後期高齢者医療特別会計を含む7つの特別会計の予算総額は145億5700万円、病院・水道の企業会計は合計で42億1003万円であり、以上のすべて

たりましては、歳入の中心で

を合わせた蕨市全体の予算総額は372億6703万円となりました。次に、マニフェストの「5つの柱」に沿って、新年度の主な事業、施策について申し上げます。

まず第1の柱は「安全・安心、きれいなまちづくり」についてであります。昨年、市民の皆さんの防犯ボランティア活動などのご努力もあり、蕨市の犯罪発生件数は271件、率にして約12%減少いたしました。減少率としては、県内で2番目に多い数値です。しかし、県内における人口当たりの犯罪発生率は、残念ながら、昨年で2年連続ワース

ト2位という結果でした。こうした状況からなんとしても脱却すべく、新年度においても、4年間で300基の防犯灯設置というマニフェストに基づき、75基の防犯灯を設置するほか、19年度に創設しました防犯ボランティア団体への補助制度を継続するなど、引き続き、防犯対策に力を入れています。

また、駅周辺の放置自転車対策は、歩行者の安全、駅周辺のきれいなまちづくりという観点からも重要であるとともに、市内の刑法犯の3割が自転車盗難であることから、防犯対策としても重要です。本年1月の調査で駅周辺の放置自転車台数は、平成18年と比較して、東西口で約1000台も減少しましたが、依然として多くの放置自転車があります。そこで、現在、自転車保管場所が満杯状態であることから、蕨戸田衛生センター敷地の一部を借りて放置自転車200台の保管場所として活用しており、引き続き、放置自転車対策を強化してまいります。

交通安全対策では、19年度に続いて安心歩行エリアの整備を進めます。防災対策では、4年間です



北小学校児童の下校を見守る防犯パトロールの皆さん

べての小・中学校の耐震化を進めるといふマニフェストに基づき、20年度は、いよいよ蕨市として初めて、東小学校、西小学校、中央東小学校の3校で、校舎耐震補強工事に着手します。併せて、耐震化設計、耐震度診断にも取り組みます。そのほか、地震ハザードマップを整備するとともに、木造住宅耐震改修補助制度を新設します。また、防災無線を1基増設し、難聴地域の解消に努めてまいります。

水害対策では、合流地域の浸水対策基本調査委託料を計上し、合流地域の浸水対策に向けた計画を策定してまいります。このほか、市内55の公園の遊具について、専門業者へ点検の委託を行い、安全性の確保に努め、環境問題では、更なるごみ減量に向けての施策として、事業系ごみの指定袋の導入や、レジ袋削減・マイバッグ運動を進めている事業者を、環境にやさしい店・事業所として認定する制度をスタートさせたいと考えています。

回り、県内40市中、下から2番目であるなど、深刻な少子化の状況にあります。こうした現状を打開するため、マニフェストで重点課題に掲げた子ども医療費無料化制度の拡大について、通院は小学校3年修了まで、入院は中学校卒業まで拡大いたします。なお、施行は10月を予定しています。また、妊婦健康調査の公費負担を、現行の2回から5回に拡充いたします。保育園につきましては、さくら保育園、たんぽぽ保育園に続き、

第2の柱である「子育て支援、教育・文化・スポーツの振興」では、蕨市は平成18年の合計特殊出生率が1.02で、これは全国平均の1.32、埼玉県平均の1.24を大きく下



小児科や産婦人科などの外来診療を更に充実

経営状況にあります。その最大の要因が医師不足にあることから、昨年9月に診療特別手当を創設し、医師確保に努めた結果、常勤医師がゼロであった小児科で1名の医師を既に確保できたほか、3月には産婦人科で1名、4月には小児科で更に1名の確保が予定されるなど、その効果が上がっています。産婦人科及び小児科では、一部

新たに、国民健康保険にて、メタボリック予防をはじめ予防に重点を置いた特定健康診査と特定保健指導を実施いたします。これは、蕨市市内の希望する医療機関で健康診断が受けられる個別健診として実施いたします。また、歯の健康づくりとして、歯周病予防検診をこれまでの30、40、50歳に加えて、60、70歳も実施いたします。

午後外来診療も始めました。新年度におきましては、引き続き、医師確保に努め、小児科や産婦人科など午後の外来診療を更に充実させてまいります。併せて、今月7日には、市民参加による市立病院経営改革プラン懇談会を充足させましたが、ここでの議論を踏まえて市立病院の改革を検討してまいります。

また、後期高齢者医療制度導入に伴う国民健康保険の対応につきましては、新たに後期高齢者支援金を負担するなど、国保会計の負担が増えることが懸念されていますが、現時点で、その影響額が不確実であり、また、さきほど申し上げましたように、物価の

魅力あるまちにとつて元気な商店街は欠かせないとの考えに基づき、元気な商店街づくりを行政としてまちづくりの柱の1つに据えて、本腰を入れて商店街の活性化に向けた取り組みを進めます。そのために、事業者、市民、消費者、行政が一体となつて元気な商店街づくりを考え、実行するために、元気な商店街づくり検討委員会を発足させます。そのなかで、新たな商店街活性化策をはじめ、大型店などの地域貢献を求める条例の検討などを行う予定です。そのほか、商店街街路灯への電気代補助をこれまでの4分の1から3分の1に拡充いたします。



放置自転車で埋め尽くされている保管場所

第4の柱である「元気な商店街、元気な蕨づくり」では、今年、蕨市総合振興計画基本計画の見直しの年に

第5の柱である「みんなで作る市民参加のまちづくり」では、今年、蕨市総合振興計画基本計画の見直しの年に

当たりですが、見直し作業を市民参加で行うとともに、テーマ別のタウンミーティングも開催してまいります。また、NPO、市民活動のネットワークづくりを進めるほか、いまや市の顔でもあるホームページをリニューアルし、より市民に使いやすい、親しまれるホームページにまいります。

なお平成20年度予算では、

6億7000万円の市債発行を予定する一方、借金の返済である公債費は14億4000万円、その内、元金分を12億1000万円計上しており、一般会計では、平成20年度を通じて、借金は約5億4000万円減少する見込みとなっています。

以上が、平成20年度の予算概要並びに編成方針、そして主な事業の概要であります。

市民と一体で全国に誇れるまちへ前進！

ところで皆さん、来年は、蕨市が市制を施行してから50

周年に当たる年です。私は、この機会を、これまでの蕨のよさを再確認し、なによりも、市民が心を一つにして、



皆さんとともに進めるまちづくりは将来へつなぐかえげのない財産です

未来に向けた新たな蕨のまちづくりのストーリーにしたい、と考えています。その成否は、今年の準備のいかんにかかっています。市役所内に市制施

行50周年事業準備担当を設けるとともに、市民参加の実行委員会を発足し、50周年の準備を進めてまいります。第2期地方分権改革が、ほんとうの意味で地方分権にふさわしいものになるかどうかは予断を許しません。そのキーワードは、自己決定、自己責任のまちづくり、言い換えれば、住民参加による個性あるまちづくりです。私は、冒頭申し上げましたように、蕨は一つの立場で、市民が心を一つにして、行政と市民が一体となったまちづくりを進めるならば、日本一小さな蕨、日本一のコンパクトシティである蕨は、全国に誇れるすばらしいまちとなることは間違いないと確信しています。私は、市長として私に与えられた職責を全うすべく、私のすべてをかけて、7万市民の幸せと生まれ育ったふるさと蕨の発展のために、まい進する決意です。どうか、議員各位をはじめ、市民の皆さんには、今後とも地方分権時代を生き抜くすばらしい蕨のまちづくりに、ご支援を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。施政方針といたします。表記その他に若干の変更がありますが、ご了承下さい。

◎今議会で可決された議案

平成20年第1回蕨市議会定例会に市長から提出され、可決された議案は、合計34件です。ここではその議案名と改正された条例をご紹介します。

議案名

- 一部を改正する条例
- 蕨市職員退職手当条例等の一部を改正する条例
- 蕨市特別会計設置条例の一部を改正する条例
- 蕨市防災会議条例の一部を改正する条例
- 蕨市国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 蕨市国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 蕨市国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 蕨市国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 蕨市重度心身障害者医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例
- 蕨市乳幼児医療費支給に関する条例の一部を改正する

- 蕨市ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例
- 蕨市介護保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例
- 蕨市保健センター設置及び管理条例の一部を改正する条例
- 蕨市立病院使用料及び手数料条例の一部を改正する条例
- 蕨市中高層建築物の建築に係る事前公開及び紛争の調整に関する条例の一部を改正する条例
- 蕨市入園・入学資金貸付条例の一部を改正する条例
- 蕨市留守家庭児童保育条例の一部を改正する条例
- 市長の給与及び退職手当の特例に関する条例の一部を改正する条例

- 平成19年度補正予算
- 蕨市一般会計補正予算(第3号)
- 蕨市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
- 蕨市老人保健医療特別会計補正予算(第2号)
- 蕨市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)
- 蕨都市計画事業錦町土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)
- 蕨都市計画事業中央第一土地区画整理事業特別会計予算
- 蕨市介護保険特別会計補正予算(第1号)
- 蕨市介護保険特別会計補正予算(第2号)
- 平成20年度当初予算
- 蕨市一般会計予算(修正可決)
- 蕨市国民健康保険特別会計予算
- 蕨市老人保健医療特別会計予算
- 蕨市公共下水道事業特別会計予算
- 蕨都市計画事業錦町土地区画整理事業特別会計予算
- 蕨都市計画事業中央第一土地区画整理事業特別会計予算
- 蕨市介護保険特別会計予算
- 蕨市立病院事業会計予算
- 蕨市後期高齢者医療特別会計予算
- 蕨市水道事業会計予算
- 人事案
- 副市長の選任の同意について
- その他
- 蕨市名誉市民の選定の同意について

「ご意見」感想を
施政方針を読まれたの
感想を、市役所3階秘書
広報課 ☎433・7703へ。